



水鳥（安津橋付近）

うたごよみ 水無月

「短歌」

渡辺幸士 選

ひっそりと日差し届かぬ竹の子は似たる顔し
て日毎伸びゆく 吉永由紀子
草引けば草には草の未練あり張りたる白根泥
掴み来る 内山タミエ
人知れず裏に咲きいる花一輪「会いに来た
よ」と暫し佇む 緒方 明美
職場での制服を着て孫が来る何処の人かと
びっくりしたり 赤星 文子
草引けば湿った土を付けしままの白きひげ根
に葉が匂う 赤星 延子
垣根越え枝ふさふさと小手毬の花を揺らして
春は過ぎゆく 塚原 暁益
爛漫の桜並木の続く道「わあー奇麗」との歓
声聞こゆ 本田富美子
入院の証の如く短歌を詠み心癒され今日退院
す 松本ぬい子
木下に憩い皐月の風さやか梢の影はワルツを
踊る 森田 房恵
吾が家より四方八方見渡して鯉のぼり一つ見
ぬは寂しき 上村やす美
亡き兄が口ずさみいし「かえり船」いつしか
吾も口ずさみおり 内田乃武子

春うらら庭に出で立ち取る草に冬の根張りの
強かを見る 上村 かず
真つ白なこころ弾ませ新入兎ランドセル背負
い小走りに行く 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「ざわざわ」

ざわざわは風の嘆きか喜びか 松本ぬい子
山の杉風にざわざわ花粉症 伊豆野ヤエ
ざわざわと止まぬ意見の反対派 緒方 瑞枝
裏山の竹ざわざわと春讃歌 北 仁子
ざわざわと賛否の意見纏まらぬ 清川みどり

「病院」

入院で病の友が一人ふえ 布田 愛子
食後にはデザート代り薬飲む 古閑チヨミ
病院がわが家になった老い独り 林 雅之
検診はおとなの為の通信簿 早 彦喜
胃カメラが泥水飲んだ跡写す 渡辺 幸士

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）